

# 令和3年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立広瀬小学校

作成日

令和4年3月11日

## 1 教育目標

たくましく豊かに行きぬく子を育てる

## 2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分の考えを発表しようとしている」…児童90%</li> <li>わかる授業、子供主体の授業を実践した…児童・教師90%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が楽しいと感じる…児童90%</li> <li>いじめの把握と解消率…100%</li> <li>月1回の「広瀬の子」</li> <li>学期1回以上の校内委員会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に運動を行うよう計画し、実践した…教師90%</li> <li>給食後の歯磨き…児童100%</li> <li>保護者や地域と連携した訓練の実施…年2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の様子がよく伝わった…保護者90%</li> <li>中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた…教師90%</li> </ul>
重点目標に対する	<p>これまでと同様に教科の学習だけでなく特別活動や道徳の学習でも思考力や表現力を育てる取組を続けてほしい。将来を生きる子供たちに必要な力は、学校生活全体で育っていくものだと思います。</p>	<p>広瀬の子供たちの優しさをベースに、豊かな心を育てることはこれからの時代にとっても大切なことです。コロナ禍の制約の中でも異年齢の児童が仲良く思いやりの心をもって学校生活を送る取組を続けてほしい。</p>	<p>これからの社会を生きぬくためにより良い生活習慣を身に付け、自分の生活に目を向けられるようになることはますます必要です。</p>	<p>広瀬地区では、学校やPTA、地域の各種団体や自治会等が一緒になって取り組む機会が年間を通して数多くあり、地域の中で子供が育っている。コロナ禍で地域との連携の機会を持つことが難しかったが、見守り隊等活動している方々とは綿密なコミュニケーションをとることが重要です。</p>
取組状況に対する	<p>子供たちが自分の考えと友達の考えをどちらも大事にしながら物事を決めて進めていく力はこれからの子供たちに必要な力です。様々な学習の場面を通じて考える力をつけてほしい。</p>	<p>今年度もコロナ禍で制約が多く、十分な異年齢の交流が実現できなかったと思います。これからも工夫して異年齢の活動で心を育てるのは大切なことです。人とかかわる中で、あいさつ等の礼儀も身に付けてほしいと思います。</p>	<p>自分の命を自分で守れるように、危険を察知できる力や危険な場面に遭遇したときにどのようにふるまうかを考えられるような取組も必要です。</p>	<p>今年度は例年のような行事が実施できず残念でしたが少子化傾向の中で、これからも、地域が一丸となって子育てを支援する必要がある。</p>
取組の適切さの検証	<p>基礎的基本的な学習内容を確実に身に付けることが必要です。また、じっくりと読んで考える力が必要であることから、読書の機会を持つことは非常に大切です。家庭や学校での読書活動の推進が必要です。</p>	<p>登下校だけでなく、なかよし活動や運動会でも子供たちが笑顔で過ごしており、異年齢の子供たちが仲良く楽しそうに過ごしている姿が見受けられた。</p>	<p>交通安全教室や避難訓練等を通して、危険に気付き、考え、行動することを身に付けさせてほしい。また、家庭との連携で、早寝、早起き、朝ご飯の取組を続けるとともに、コロナ禍で低下した体力の向上にも努めていただきたい。</p>	<p>学校の取組を広報することは、地域と学校をつなぐ大切な活動です。地域は、学校の取組を知り、学校を応援しようとしている。その中で、子供たちも地域の一員であることが実感できていると思います。</p>
改善年度に向けての意見	<p>学力向上と読書活動推進の取組を進めてください。これからの社会を子供たちが自分の力でしっかりと生きるために、自分で考えて人と力を合わせていけることはますます重要です。学校も含めて地域全体でそのような子育てに取り組む必要がある。また、コンピューターを使った情報教育にも積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>地域で子供たちを見守る取組を長年続けていることも、子供たちの心の安定につながっているのだと感じます。児童一人一人の様子に合わせたきめの細かい指導に今後も取り組んでほしい。</p>	<p>今年も制約の多い一年でしたが、これからも家族のふれあい等家庭と連携した取組や実践的な避難訓練等を工夫して取り組んでほしい。</p>	<p>地域と学校の良好な連携の中で、子供たちも広瀬地区の子供であることを実感し、落ち着いて成長していると思います。今後もこの良好な関係の中で、子育てが続けられるよう願っている。</p>

## 3 その他のご意見

子供たちが「ふるさと広瀬」を感じ、「広瀬の子供でよかった」と実感できる取組を大切に、小さい学校であることを強みとして学校と保護者・地域が連携した取組を続けていきたいと思っています。